

福祉教育

福祉教育として、隔年ごとに講師の先生に来ていただきます。令和7年度は、手話講師グループさんの堀内さん、江田さんから聴覚障害について学びました。聞こえないとはどういうことなのか、聞こえない人とコミュニケーションをとるにはどんな方法があるのかを教えていただきました。



聞こえない人には、手話だけではなく身振り手振りや表情でも伝わることや、大きな動作をするなどの工夫をすれば気持ちが伝わることを知りました。

手話で、自分の名前の表し方も教えていただき、実際にやってみました。



〈児童の感想〉

- ・初めて手話を教えてもらって、口とか手の動かし方がよく分かりました。
- ・聞こえない人の家にはいろんな工夫がされていることを知りました。
- ・お二人の手が、とても上手だなあと思いました。僕もいろいろな人にいろいろな方法であいさつしたいです。